

【B年】

降臨節第三主日

主よ、み力を現してわたしたちのうちにお臨みください。
わたしたちは罪に妨げられて、苦しんでいますので、豊かな恵みをもって速やかに助け、お救いください。父と聖霊とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましよう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第六五章十七節から」

17 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。

初めからのことを思い起こす者はない。

18 それはだれの心にも上ることはない。
代々とこしえに喜び楽しみ、喜び躍れ。
わたしは創造する。

見よ、わたしはエルサレムを喜び躍るものとして
その民を喜び楽しむものとして、創造する。

19 わたしはエルサレムを喜びとし
わたしの民を楽しみとする。

泣く声、叫ぶ声は、再びその中に響くことがない。

20 そこには、もはや若死にする者も

年老いて長寿を満たさない者もなくなる。

百歳に死ぬ者は若者とされ

百歳に達しない者は呪われた者とされる。

21 彼らは家を建てて住み

ぶどうを植えてその実を食べる。

22 彼らが建てたものに他国人が住むことはなく

彼らが植えたものを

他国人が食べることもない。

わたしの民の一生は木の一生のようになり

わたしに選ばれた者らは

彼らの手の業にまさつて長らえる。

23 彼らは無駄に労することなく

生まれた子を死の恐怖に渡すこともない。

彼らは、その子孫も共に

主に祝福された者の一族となる。

24 彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え

まだ語りかけている間に、聞き届ける。

25 狼と小羊は共に草をはみ

獅子は牛のようにわらを食べ、蛇は塵を食べ物とし

わたしの聖なる山はどこにおいても
害することも滅ぼすこともない、と主は言われる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第一二六編

- 1 主が捕らわれ人をシオンに戻されたとき＝ わたしたちは夢を見ている思いがした
- 2 わたしたちの口は笑いで、舌は喜びの歌で満たされた
＝ 国々の民も叫んで言った、「主は彼らに偉大なみ業を行われた」
- 3 主はわたしたちに偉大なみ業を行われ＝ わたしたちは喜びに溢れた
- 4 雨のあとにネゲブの川が流れを取り戻すように＝ 主よ、わたしたちに繁栄を回復してください
- 5 涙のうちに種まく人は＝ 喜びのうちに刈り取る種を手に涙を流して出て行く人は＝ 束を抱え、喜びに溢れて帰って来る
- 6

使徒書

朗読者 「使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅰ 第五章

十六節から」

16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。19 霊の火を消してはいけません。20 預言を軽んじてはいけません。21 すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。22 あらゆる悪いものから遠ざかりなさい。

23 どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。24 あなたがたをお招きになった方は、真実で、必ずそのとおりにしてくださいます。

25 兄弟たち、わたしたちのためにも祈ってください。

26 すべての兄弟たちに、聖なる口づけによって挨拶をなさい。27 この手紙をすべての兄弟たちに読んで聞かせるように、わたしは主によって強く命じます。

28 わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた

と共にあるように。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第一章六節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

6 神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。7 彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。8 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。

19 さて、ヨハネの証しはこうである。エルサレムのユダヤ人たちが、祭司やレビ人たちをヨハネのもとへ遣わして、「あなたは何ですか」と質問させたとき、20 彼は公言して隠

さず、「わたしはメシアではない」と言い表した。21 彼らがまた、「では何ですか。あなたはエリヤですか」と尋ねると、ヨハネは、「違う」と言った。更に、「あなたは、あの預言者なのですか」と尋ねると、「そうではない」と答えた。22 そこで、彼らは言った。「それではない、だれなのです。わたしたちを遣わした人々に返事をしなければなりません。あなたは自分を何だと言うのですか。」23 ヨハネは、預言者イザヤの言葉を用いて言った。

「わたしは荒野で叫ぶ声である。

『主の道をまっすぐにせよ』と。」

24 遣わされた人たちはファリサイ派に属していた。25 彼らがヨハネに尋ねて、「あなたはメシアでも、エリヤでも、またあの預言者でもないのに、なぜ、洗礼を授けるのですか」と言う、26 ヨハネは答えた。「わたしは水で洗礼を授けるが、あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。27 その人はわたしの後から来られる方で、わたしはその履物のひもを解く資格もない。」28 これは、ヨハネが洗礼を授けていたヨルダン川の向こう側、ベタニアでの出来事であった。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」